

「平成18年版 パートタイマー白書」刊行にあたって

平素は弊社求人広告事業ならびに当研究所の情報サービスにご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。アイデム人と仕事研究所は、「人と企業のトータルコミュニケーション」をメインテーマに「雇用する企業」と「働く人々」の双方の立場に立脚し、人材総合企業アイデムで培ってきた独自の着眼点で事業展開をしています。その事業の一環として平成10年から刊行しているこのパートタイマー白書は18年版で9年目を迎えました。多くの企業の方々から高い関心と評価をいただいた賜物と、スタッフ一同心から感謝しております。

総務省統計局「労働力調査」によると、平成16年には役員を除く雇用者4,975万人のうちの31.4%が、パート・アルバイトなどの非正規雇用者であり、その非正規雇用者の半数以上(51.7%)を女性が占めているという現状であります。人数、割合とも拡大しつつあるパート・アルバイトなど非正規雇用者の能力が有効に発揮される環境を整えることは、人口減少が進む日本経済にとって重要な課題となってきました。また企業にとってもパート・アルバイトなど非正規雇用者は貴重な労働力であり、人数や割合だけでなく仕事の質(基幹的な役割への移行)も今後急速に変容していくことが予想されます。

パート・アルバイトを戦力とするためには、正社員とパート・アルバイトの仕事の内容や分担の仕方、働いてもらいたい時間と働きたい時間、評価や賃金といった処遇などの点で、雇う側(企業)と働く側(パート・アルバイト)の間にしっかりとした相互理解を構築する必要があります。この相互理解構築が行われないと、パート・アルバイトだけでなく正社員を含めた従業員の能力が効率的に発揮できない状態となり、それは企業にとっても多大な損失となってしまいます。換言すれば、柔軟で多様な働き方とその働きに応じた処遇を行うことは、企業にも、パート・アルバイトにも、ひいては日本経済にも大きな利益をもたらすと考えます。

本年度もパートタイマー白書の発刊にあたり、多くの企業のご担当者、また多くのパート・アルバイトとして就業されているの方々から多様な意見をお聞きすることができました。その意見を集計した結果がこの白書です。企業の方々、就業されている方々の「生の声」がこの白書だといえます。

平成18年4月
株式会社アイデム
人と仕事研究所
所長 吉野 秀一

はじめに

パート・アルバイトの雇用が増え、従業員に占めるパート・アルバイトの割合が高まるほど、パート・アルバイトを戦力化することが重要になってきます。その戦力化の一助になればと、この3年間、戦力化に資する設問を設定して本白書を作成してまいりました。

昨年のパートタイマー白書では戦力化する鍵となる「やる気」について聞いています。

やる気になったときの勤務態度は「大きく変わる（18.7%）」、「ある程度変わる（55.4%）」と7割強のパート・アルバイトは勤務態度が変わると回答しています(図1参照)。また、その変わり方は、「仕事への集中力が高まる(61.7%)」、「テキパキと働き仕事の能率が上がる(59.4%)」、「積極的に仕事に取り組む(57.1%)」など労働生産性と強く関係するものです(図2参照)。さらに、パート・アルバイトがやる気になった事柄を聞いたところ、「お客様に喜ばれたとき(52.5%)」、「自分の仕事に対する評価があったとき(46.8%)」、「仕事の成果が実感できたとき(34.5%)」、「上司から信頼されていると感じたとき(33.8%)」、「責任のある仕事を任せられたとき(32.9%)」と、評価に関連する項目が上位に並び、自分に対する他者からの評価、認めがやる気につながることを確認できました(図3参照)。本人の仕事ぶりを明確かつ具体的に評価すること、できる人には責任あるレベルの仕事を与えていくこと、この2つがやる気を高めるポイントになっています。

以前から本白書を作成している中で、仕事に対する責任や責任感について、パート・アルバイトと企業に大きなギャップがあるように感じています。「パート・アルバイトだから」と線引きしている方、「意欲を持って働いている」という方などいろいろな考え方の労働者が混在していますが、「パート・アルバイトだから、無理して頑張らなくても…」と考える方が多いように見受けられます。一方、企業側は、正社員とまったく同じ働き方や責任度合いまでは求めていなくても、きちんと責任感を持って働いてほしいと考えています。やる気とともに、責任感を持って働いてもらうことも戦力化には重要です。

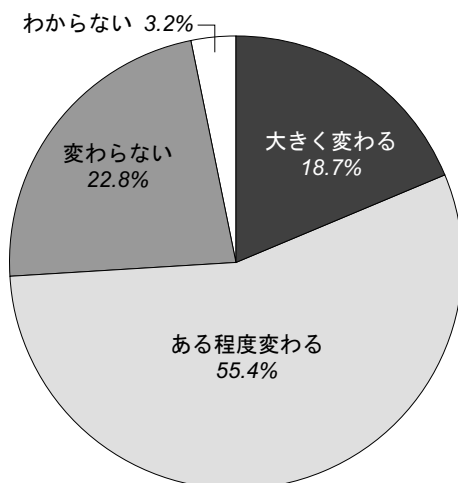
そこで今回の白書では、パート・アルバイトの「責任感」や「プロ意識」に焦点をあて、企業とパート・アルバイトの双方に対して、アンケートを実施しました。その回答を比較し、意識のズレなどを明らかにするねらいから、双方の回答を並記しています。さらにアンケートで寄せられた多数の企業担当者やパート・アルバイトの声を盛り込んで構成しています。

『平成18年版 パートタイマー白書』から、パート・アルバイトの戦力化へのヒントをつかんでいただければ幸いです。

人と仕事研究所

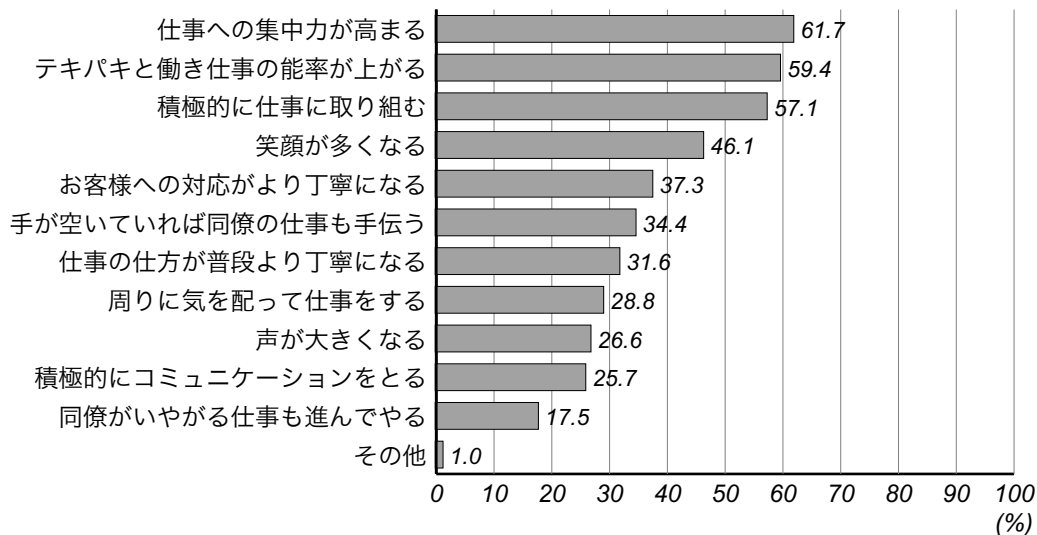
主任研究員 小杉 雅和

図1 やる気になったときの勤務態度(全体)



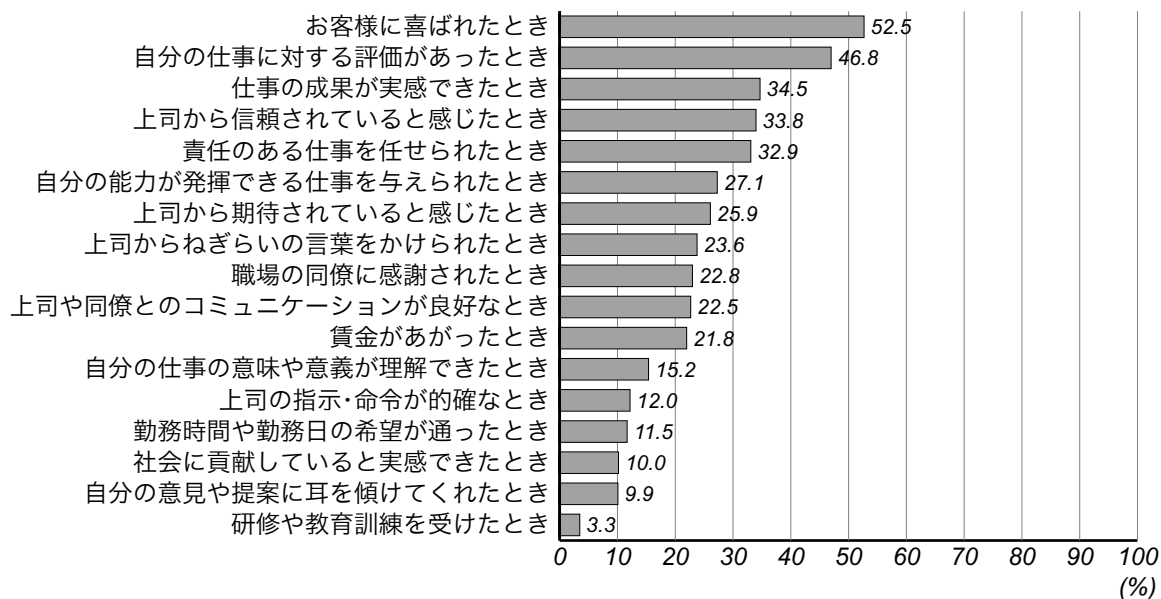
資料出所：弊社 平成17年版パートタイマー白書

図2 やる気になったとき勤務態度はどのように変わるか(複数回答)



資料出所：弊社 平成17年版パートタイマー白書

図3 現在の勤務先でやる気になった事柄(複数回答)



資料出所：弊社 平成17年版パートタイマー白書